◎犯罪の防止及び犯罪者の処遇に関するアジア及び極東研修所を国際連合と 日本国政府の共同運営の下に存続せしめることに関する交換公文

略称)アジア防犯研修所の存続に関する取極

昭和四十一年 一 月 昭和 昭和四十一年二月二十八日 四十 年十二月二十八日 H 効力発生及び交換公文の告示 (外務省告示第二十八号) 効力発生 ニュー・ヨークで

H 2 1 本 ア 側 ジ 研 研 ア 書 本 修 修 防 簡 国 所 所 犯 政 0) 0 研 目 規 職 修 則 員 所 及 0) び 共 そ 次 同 0 管 職 理 務 及 U 管 理 条 件 三四三 三四三 三四三 ページ 一四四

3

の府に

よる法令の

範囲

内

に

お

H

る 職 員 及 び 諸

便

益

4

Ŧ 0 Н

際

連

合に

よる技術援

助

0)

提

供

提

供

四五 四四四

アジア防犯研修所の存続に関する取極

国際連合側書簡	6 効力発生及び有効期間	おける取扱い	5 特権、免除条約の研修所への適用及び研
三四七	三四六	三四五	修員の日本国に

研 修所 めることに関する交換公文 を国 H 際連合と日 本 側 書簡 本国 [政府 の

犯

罪

の

防

ıŀ:

及

び犯罪者

この処

遇

に関するアジア及び極

東

)共同

運営の下に存続

訳文)

誾 n 基 るアジ た犯 一 づ き、 0 を日本国 書簡をも 協定により設置された犯罪の防 罪 ア及び の防 VC つて啓上 1. 設置 ıĿ 百 )極東研修所 1六十 及び犯罪 することに関する国際 5 一年三月十 たし の計画 者の処 )ます。 遇 の実施に言及する光栄を有しま  $\overline{\mathcal{B}}$ 日 に関するアジ 本 代表は、 ア ニュ 止及び犯罪 連合と日本国 1 本 者 ア及び 国政府の  $\exists$ の処遇に関す 1 ク 政 極 で署名さ 東研修 府 訓 との 令

ます。 管 理するという日本国政府 本代表は、さらに、 前記 の の研修所を次の条件によつて共同 提 案 を貴官 に通報する光栄を有

1 研 修所 VC 次 0 職員 をおく。

(a) する干 びこれに 次長と協議 )日本国政府に提出することをその職務とする。 所長 九 二人。 うい 六 十七年三月三 7 所 て研修所 長は、 指示すること、 K 0 研 際連合 + 修及び調 に対 日 並 びに、 現 在の 査の計画を作成 して責任を負 報告を国 研修所の 察 事 連合及 業に関 し、及

> (Japanese Note)

28

December 1965

Agreement between the United Nations and the Treatment of Offenders, Institute for the Prevention of Crime and the tion of the programme of the Asia and Far East I have the honour to refer to the implementa-Under instructions from my home Government, established by the

Government of Japan for the Establishment of

the Asia and Far East Institute for the Pre-

jointly upon the following conditions: Institute referred to above shall be operated signed at New York on 15 March, 1961. the Government of Japan proposes that the vention of Crime and the Treatment of Offenders I have further the honour to inform you that

で

ing staff: The said Institute shall have the follow-

Japan a report as of 31 March 1967, the United Nations and the Government of grammes of the Institute and to submit to direct in consultation with the Deputy tions shall be, inter alia, to the United Nations and whose functhe activities (a) A Director who shall be responsible the training and research proof the Institute. to plan and

アジア防犯研修所の存続に関する取

(b)

次

lé

\_\_

人。

次長は、

研

修

所の発展を助長

つするた

んめ政府

適当な当局

と連絡する

ことを含め

7

所

長の職

務

遂

行

K

0 0

て所長を助ける。

益及け囲法府日 のびる内令に本 提諸職にのよ国 供便員お範る政

規研り 別修の

2

研修所

。 の

)規則

(教育方法を含む。

は、

所長及び次長が

相

互に協議

して作成する。

- (d) (c) 施を管理 職員 必要な教 高級顧 する。 問 育職 人。 貝 高級顧 調 査 職 間 員、 は 研 通訳及び 修所の計画及び調査の 翻 訳
- 職 員 並 び K 事
- 3 0 j E 本 0 H を提 政 供する。 府 は、  $\mathbb{H}$ 内法 に従い ` か つ、 予算 の範囲内 で、 次
- (a) 職 員 1-18 際連 調 查 合と協議し 職員、 通訳及び て指名 翻訳職 する次長 員 並 一人並 7 に事務 びに必要な教 職員 育
- (b) 維持 研 修 所 0 门目的 の達成に必要な設備され た土地 及び 建 物 0
- (c) 研 修 所 0 出 版 物 0 印 刷 に必要 な便益
- (d) 諸 施 設 VC お H る研 修、 調 査及 Ĭ )展示 0 目的 0 ため の 便
- (e) 参考資料 研修 所 0 iff 阃 及び 調 査 に必要 な備品、 専門図 書その他

- of the Government of Japan with a view liaison with the proper authorities the Director in the discharge of the (d) to furthering the development of the latter's functions, including the A Deputy Director who shall assist
- research of the Institute. the implementation of the (c) Institute. A Senior Adviser who shall supervise programme and

実

- language and administrative staff. (d) The necessary teaching, research,
- Director upon mutual consultation. drawn up by the Director and the Deputy 2. The regulations of the Institute, ding the method of instruction, shall The Government of Japan shall provide method of instruction, shall be inclu-
- ations: the limits of annual budgetary appropriin accordance with national laws and within
- the necessary teaching, research, language and administrative staff; sultation with the United Nations and premises necessary for the fulfilment of (b) Maintenance of furnished and equipped (a) A Deputy Director assigned in Institute's purposes; C 0 n-
- publications of the Institute; (c) Facilities for the printing of
- and other reference material as may be required by the programme (d) Facilities in institutions for train-Such equipment, research and demonstration purposes; technical literature and research

0

K ても

て職 用 連

を遂行

する国

際

職 .. つ 条約

員

は、

記

0

約

0 連

適

され

るものとする。

た

が

て、

研

修

所

نځ

ō

関

五条及 お

ÇK

第 務

-E

条に規定され

る特 連合の L

権

及

び

免

除

を 前

亨

有

す 条

る

5

(1)

 $\mathbb{K}$ 

合

0

特

権

及

Ţ

免

除に

関

する

は、

研

修

所

K

つ

る

援

助

を研

修

所

0

た

80

VC

提

供

する。

(f) 0 便 修 所 益 を 0 含 計 が。 圃 0 効 果 的 な 実 施 K 必 要なそ Ō 他 の 寄 与.

め n 0 , る所 規定 た の三人 玉 め 際 お 長 0 連 0 け 及 効 合 Z 0 短期 力 療 ۲, ZK. 分 高 が 養 専 級 存 VC 資 奨 門 顧 続 金 つ 学金 ,家の 問 5 + が 0 る 7 あ 役 役 期 ることを条 0 フエ 務、 務、 間 助 T 関 特  $\Box$  $\mathbb{H}$ 别 係 本 I 再教 地  $\mathbb{R}$ 件 シ 域域 政 とし ッ 府 ブ 内 育 と協 又は特 て、 0 並 Н 本 議 V. ح の上 VC  $\mathbb{R}$ 別 0 毎年 交換 以 研 外 任 修 0 命 0 公 成  $\mathbb{F}$ た

五. (g) 百 合 衆 国 車 合 ル が 0  $\mathbf{k}$ 備 際 品 的 M 専 採 門図 用 す 書、 る 職 その 員 VC 他 . 対 0 する医 参 一考資 療 料 及び から 病

(2)さ ない n るも 研修 す ÇK か K 所 ことす 研 7 で研修する国 修 0 É すみ K 必 0 É 要 查 は、 かに へな期 証 際連 は、 H 旅 間 本 行 中 合獎 玉 必 一要が を行 0 H 学金 0 入国 な 本 ある場合には、 5  $\mathbb{R}$ の受給 及び た K め お 者 0 1  $\mathbf{H}$ 便 る滞 で日 本 益 玉 在 を与えら か 本 すみや b を  $\mathbb{R}$ 許 0 民 出 可 で

.防犯研修所の存続に関する取極

## Institute;

- including transport facilities; necessary for the successful implementation of the programme of the Institute, Any other contribution which may be
- United staff internationally recruited by Medical and hospital assistance Nations.
- and other reference material in the amount short-term experts for special refresher or effective period of the provisions of this for countries of the region other than Japan ad hoc training courses and Government of Japan, be appointed upon consultation with the ices of the Director and Senior Adviser to exchange of notes, to the availability of funds, U.S.\$ also of equipment, technical literature United Nations shall provide, Institute, consisting of the serv-2,500.the technical assistance the services of three ten fellowships during subjec
- Accordingly, officials of the United Nations performing functions in connexion with the applicable in respect of the Institute. of the said 1 mmunities Institute shall enjoy the privileges and Immunities of the United (1) The Convention on the Privileges and provided for Convention. n r Nations shall be Articles V and VII
- for speedy travel. their training and sojourn there for the enter into and exit from Japan and to nationals of Japan shall be permitted fellowships at the All holders of the United be granted facilities institute who Visas, where required, period necessary for are not Nations

- 六年

6 を生じ、 千九百 六十 -年三月三十 7 九百 六十 \_\_\_ E まで効 \_-月 笋 を有 日に す · 劾 る 力 0

(2)犯 千九百 罪 との 天十 交換 rl: 及 公文の Û 年 三月 犯 1 1 罪 Y. 十 五 K 别 0 処遇 |-| 段 K 0 = 定 K 関 . 1. め -} I が á あ • る場場 ア  $\exists$ ジ 1 ア ク 合を除 で び 署 )極東 4 < され ほ 研 か 修

つて敬意を表 本代表 との Ϋ́ 所 关十 を日 間 は 七年 水 0 協 以 [33] 定 Ē. Ė K します。 П . 設 を申 0 規定 三十 置することに L 進 は Ы 80 まで 千九 るに 百 関 際 の期間 六 する国 Ļ 7 潍 놋 ことに重 年 際 甪 され 連 月 合 るものとする。 ね と日本 て貴官に向 H から千 围 政 府 九

か 千九百六十五年十二月二 十八日

日本政 明

[-13] 際連合

国際連合経済社会局技術援助コミッ

シ ョ

ナー

ヴ

1

ク

タ

I

フ

1

事

務

次

Ŀ

殿

府代表 松 #

> shall be granted, promptly and free

三四六

- 1966, 1967. charge. notes (1) The provisions shall come into force on and shall be valid until 31 March, of this exchange of l January,
- 31 March, 1967. during the period from 1 January, 1966, to York on 15 March, the Treatment of Offenders signed at New Establishment of the Asia and Far East Nations and the Government of Japan for the visions of the Agreement between the United this exchange of notes, Institute for the Prevention of Crime and (2) Except as otherwise provided for in 1961, shall be applied the terms and pro-

tion. to you the I avail myself of this opportunity to renew assurances of my highest considera-

(Signed) Japan to the United Nations Permanent Representative of Akira Matsui

Commissioner for Technical Under-Secretary Social Affairs Assistanc

United Nations, New York Department of Economic and

Victor Hoo

訳文)

 $|\mathbf{x}|$ 際連合側書簡

(United Nations Note)

 $^{28}$ 

December 1965

を有します。 十 八日付けの貴代表の次の書簡を受領したことを確認する光栄 書簡をもつて啓上いたします。本官は、 昭和四十年十二月二

 $\Box$ 本側書簡

本官は、

国際連合が前記の

貴代表の書簡に述べられた日本国

報する光栄を有します。 政府の提案に同意する旨 を 国際連合に代わつて、 貴代表に通

千九百六十五年十二月二十八日

敬意を表します。

本官は、

以上を申し進めるに際し、

ととに貴代表に向かつて

consideration.

Accept, Sir,

the assurances of

my highest

技術援助コミッショナー

ヴィクター・フー

国 際連合日本政府代表部

特命全権大使 松井 明閣下

Sir,

as follows: your note of 28 December 1965, which reads I have the honour to acknowledge the receipt

0 f

(Japanese Note)"

further the honour to state that the United Nations accepts the proposals of the Government of Japan as stated in your communication quoted On behalf of the United Nations, 1 have

(Signed) Victor Hoo

Technical Assistance Commissioner for

His Excellency

Plenipotentiary Permanent Mission Ambassador Extraordinary and Mr. Akira Matsui 235 East 42nd Street, 25th Floor of Japan to the United Nations

三四七

New York 17, New York

(参考

処遇 との交換公文は、 が昭和 K 関するアジア及び 四十年 末 をもつ 昭和三十六年三月十五 極 て 東 失効、 研 修 所 するので、 を 日 本 <u>=</u> 日 とりあ

定

. まで、

前 記の

協定と同

VC VC . 設 ニ ユ 1 置 めえず昭和四--. 3 ] クで署名 関 する 国際 され 連 た

合 と 日 本 玉

犯

罪

0 防

止 及び

犯罪者

0

日 から同 四 四十二年三月三十国政府との間の協

+

一年一月

様の条件で研修所を共同運営して行くことを確認するものである。

三四八